

# 日本文化人類学会第 46 回研究大会のご案内

## 第 1 回サーキュラー

日本文化人類学会第 46 回研究大会を次の要領で開催します。

1. 会期：2012 年 6 月 23 日（土）・24 日（日）
2. 会場：広島大学東広島キャンパス  
 住所：〒739-8521 広島県東広島市鏡山 1-7-1  
 アクセスマップ：  
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/index.html>（広島大学キャンパス案内）  
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/higashihiroshima/>（東広島キャンパス交通アクセス）  
[http://www.hiroshima-u.ac.jp/add\\_html/access/ja/saijyo4.html](http://www.hiroshima-u.ac.jp/add_html/access/ja/saijyo4.html)（東広島キャンパスマップ）

### 【重要なお知らせ】

第 46 回研究大会の研究発表には、第 45 回研究大会と同様に、「個人発表」「分科会発表」「ポスター発表」の 3 種類がありますが、いずれの発表に関しても査読が行われます。研究発表の査読を受けるためには、要旨登録期間（2011 年 11 月 17 日（木）14：00 から 12 月 8 日（木）14：00）の間に研究発表の要旨を登録することが必要です。査読のための要旨登録や査読の内容の詳細につきましては、以下の<研究発表の査読のための要旨登録について>と、研究発表査読委員会からの「研究大会における研究発表に関する査読について」とをご覧ください。

### \*\*\* 第 46 回研究大会の概要 \*\*\*

#### 1. 研究発表の種類と時間

- ・以下の「個人発表」「分科会発表」「ポスター発表」を通じて、1 人で発表できる件数は 1 件のみとします。
  - ・「分科会発表」の組織者は趣旨説明の他に、自分が組織する「分科会発表」でのみ発表を行うことができます。
  - ・「分科会発表」でのコメンテーターは発表者とは見なしません、コメントができる「分科会」は 1 人 1 件とします。
- 1) 「個人発表」：口頭による個人発表。（6 月 23 日 9：00～17：25、24 日 9：00～17：10）
    - ・発表の時間は質疑応答を含めて 25 分とします。（次の発表との間は 5 分）
    - ・映像人類学の発表も「個人発表」とし、発表の時間は 25 分とします。ただし、通常の口頭発表とのバランス上、映像の上映時間は 15 分以内としてください。
  - 2) 「分科会発表」：4 人発表型あるいは 5 人発表型。（6 月 23 日 9：00～17：25、24 日 9：00～17：10）
    - ・4 人発表型「分科会発表」の時間は「個人発表」（間の 5 分も含めて）5 件分で計 145 分とします。
    - ・5 人発表型「分科会発表」の時間は「個人発表」（間の 5 分も含めて）6 件分で計 175 分とします。
    - ・映像人類学の発表で「分科会発表」を構成する場合、「個人発表」や通常の口頭発表で構成される「分科会発表」とのバランス上、各発表者に少なくとも 20 分程度の発表時間を確保するよう配慮してください。
    - ・「分科会発表」の趣旨説明が査読で採択されなかった場合、また、発表予定者のうち査読で採択された者が 4 人に満たなかった（3 人以下であった）場合は、「分科会発表」は不成立とします。その際、自分の発表要旨が査読で採択された発表予定者は「個人発表」あるいは「ポスター発表」として個別に発表を行うことができます。
  - 3) 「ポスター発表」：「A0」紙（84.1×118.9cm、A4 紙 16 枚分）サイズのパネル 1 枚を用いた発表。
    - ・「ポスター発表」専用の会場、ポスター掲示用のパネル、発表へのコメントを書くための用紙とこれを入れる箱をパネルごとに用意します。
    - ・ポスターの用意（印刷等）、予め指定されたパネルへのポスターの掲示は発表者自身が行なうものとします。6 月 23 日 15：30～17：00 を準備時間に充てる予定です。
    - ・6 月 24 日 9：00～16：30 がポスターの掲示時間です。この間、すべてのポスターが発表会場に掲示されており、大会参加者は随時、発表を見ます。なお、11：30～12：50 を質疑応答時間としますので、発表者は必ず発表会場にいてください。

## 2. 研究発表の数、研究発表の可否の決定など

- 研究発表の件数は、会場運営の都合上、「個人発表」「分科会発表」合計で（4人発表型分科会を5件分、5人発表型分科会を6件分と数えて）240件、「ポスター発表」30件を上限として予定しています。
- 査読で採択された研究発表要旨が上記の件数を超えた場合、要旨を登録した日時の先着順位（以下、「要旨登録順位」と呼びます）に従って研究大会準備委員会が発表の可否を決定します。査読の結果および発表の可否については、2012年1月31日（火）までに研究大会準備委員会から研究発表要旨登録者へ連絡します。
- 研究大会準備委員会が要旨登録順位に従って発表の可否を決定する際には、「個人発表」と「分科会発表」との区別は判断の材料としません（「個人発表」何件、「分科会発表」何件といった枠を予め別に設けて、それぞれに要旨登録順位で発表の可否を判断することはしません）。なお、各「分科会発表」の要旨登録順位は組織者による趣旨説明要旨の登録日時によって数えます。
- 「個人発表」の要旨が査読で採択されたにもかかわらず要旨登録順位により「個人発表」としての発表ができない時には、「ポスター発表」の件数に余裕がある場合に限って、「ポスター発表」へ発表様式を変更することができます。研究大会準備委員会から、要旨登録順位に従って、その旨を連絡し、ご意思を確認します。
- 「ポスター発表」の要旨が査読で採択されたにもかかわらず要旨登録順位により「ポスター発表」としての発表ができない時には、「個人発表」の件数に余裕がある場合に限って、「個人発表」へ発表様式を変更することができます。研究大会準備委員会から、要旨登録順位に従って、その旨を連絡し、ご意思を確認します。
- 「分科会発表」の組織者による趣旨説明要旨が査読で採択されなかった場合、また、発表予定者のうち発表要旨が査読で採択された者が4人に満たなかった場合、分科会は不成立となります。また、査読で採択された「個人発表」「分科会発表」の要旨の合計件数が240件を超え、研究大会準備委員会が「分科会発表」の要旨登録順位（組織者による趣旨説明要旨の登録順位）に従って発表を不可能と決定した場合も、「分科会発表」は不成立となります。これらの場合、自分の発表要旨が査読で採択された発表予定者は「個人発表」あるいは「ポスター発表」へ発表形式を変更することができます。その可否については、上記の「個人発表」「ポスター発表」に準じ、各発表予定者の要旨登録順位に従って研究大会準備委員会が決定して連絡し、ご意思を確認します。

## 3. 参加登録

- 査読制がありますので、参加登録は研究大会準備委員会から要旨登録者へ査読の結果および発表の可否を連絡した後、2012年2月1日（水）から5月18日（金）まで受け付けます。これは研究発表を予定していない人も同様です。
- 参加登録は参加費の納入をもって完了と見なします。登録情報の送信だけでなく、参加費の振込みもお忘れなきよう、よろしくお願いいたします。

## 4. 映像作品の上映

- 研究発表とは別に、文化人類学・民族学研究に関連する映像作品の上映を受け付けます。

## 5. 発表要旨集

- 『研究大会要旨集』は冊子体のものを研究大会当日に配布します。その他にウェブ版の公開も行います。

## 6. 第2回以降のサーキュラー

- 今後、第2回以降のサーキュラーは原則として、今大会用に開設する以下のウェブサイトで公開しますのでご覧ください。
- 研究大会ウェブサイト：<http://www.jasca.org/meeting/46th/index.html>
- 研究大会準備委員会Eメール：[46nbj@jasca.org](mailto:46nbj@jasca.org)
- サーキュラー等の郵送を希望する人は、また、ウェブ上での研究発表要旨登録や研究大会参加登録のできない人は、「サーキュラーおよび郵便登録用紙請求」を行ってください。官製はがきに「サーキュラーおよび郵便登録用紙請求」と書き、住所・氏名・電話番号・FAX番号、個人発表を希望する場合はその旨を明記の上、研究大会準備委員会宛てにお送りください。ご請求は2012年4月20日（金）（当日必着）まで受け付けていますが、研究発表希望者は査読のための要旨登録が必要となりますので、2011年10月31日（月）（当日必着）までにご請求ください。第2回サーキュラーと郵便研究大会参加登録用紙、研究発表希望者には郵便研究発表要旨登録用紙を、10月31日（月）以降に送付します。
- なお、郵便での参加登録も5月18日（金）（当日必着）までとします。  
〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1 広島大学大学院総合科学研究科  
日本文化人類学会第46回研究大会準備委員会事務局

**\*\*\* 第46回研究大会の手続きに関するお知らせ \*\*\***

**<研究発表の査読のための要旨登録について>**

**1. 要旨登録の種類と期間**

- 以下の「個人発表」「ポスター発表」の発表要旨登録、「分科会発表」の趣旨説明要旨登録・発表要旨登録は、研究発表の査読を受けるために要旨などを登録するもので、研究大会への参加登録ではありません。
- 「分科会発表」には、組織者による趣旨説明要旨の登録と、発表者各人の発表要旨の登録との両方が必要です。これらの登録は発表者各人による登録、組織者による一括登録のいずれもが可能です。
- 「個人発表」「分科会発表」「ポスター発表」のすべては要旨登録期間に要旨登録をすませてください。
- 登録された要旨などは、査読で採択され発表が可能となったものを、(一部の個人情報を除いて)そのまま『研究大会要旨集』に編集・掲載します。『研究大会要旨集』は冊子体のものを研究大会当日に配布します。その他にウェブ版の公開も行います。

**2. 要旨登録をすることのできる資格**

- 「個人発表」「ポスター発表」の発表要旨を登録するには、以下の要件を満たしていることが必要です。
  - 1) 2011年11月17日(木)の時点で学会員であること。
  - 2) 2011年12月8日(木)の時点で2011年度までの会費を完納していること。
- 「分科会発表」の発表要旨や趣旨説明要旨を登録するには、以下の要件を満たしていることが必要です。
  - 1) 2011年11月17日(木)の時点で学会員であること。
  - 2) 2011年12月8日(木)の時点で2011年度までの会費を完納していること。
  - 3) 「分科会発表」の趣旨説明要旨を登録する組織者は上記1) 2) を満たしていることが必要ですが、非学会員が発表者となることも可能です。その場合、非学会員による発表の要旨は組織者が代わりに登録してください。ただし、「分科会発表」が不成立あるいは不可能となった場合に、非学会員が代わりに「個人発表」あるいは「ポスター発表」を行うことはできません。また、非学会員の発表者は1分科会あたり2名以内にとどめてください。
- いずれの形式の発表でも、査読では採択されながら要旨登録順位により発表ができず、発表種別の変更を望まないか、あるいはできない場合、次年度の研究大会にて優先的に発表枠を得ることができます。

**3. 「個人発表」「ポスター発表」の発表要旨登録**

- 1人で発表できる回数は「個人発表」「分科会発表」「ポスター発表」のいずれか1回だけです(「分科会発表」でのコメンテーターは発表者とは見なしません)。
- 研究大会ホームページ (<http://www.jasca.org/meeting/46th/>) から J-STAGE の演題登録画面に入り、ウェブ上で下記の手順に沿って発表要旨などの電子登録をしてください。
- 登録ができるのは、2011年11月17日(木) 14:00~12月8日(木) 14:00の要旨登録期間と限られています。それ以外の期間には登録できません。
- 査読で採択された「個人発表」「分科会発表」の要旨の合計件数が240件を超えた場合、要旨登録順位に従って研究大会準備委員会が発表の可否を決定します。「個人発表」の要旨が査読で採択されても要旨登録順位により「個人発表」ができないことがありますので、ご了承ください。
- 査読で採択された「ポスター発表」の要旨が30件を超えた場合、要旨登録順位に従って研究大会準備委員会が発表の可否を決定します。「ポスター発表」の要旨が査読で採択されても要旨登録順位により「ポスター発表」ができないことがありますので、ご了承ください。
- 要旨登録の期間中、J-STAGE には何度でもログインできるため、登録内容の変更が可能です。ただし、その場合、要旨の最終登録日時は最後に登録内容を変更した時点となります。したがって、変更を加えるごとに、大会準備委員会による発表の可否決定にかかわる要旨登録順位が後ろに下がりますので、十分にご注意ください。
- 要旨登録に際しては、以下のことを行ってください。
  - 1) 希望の発表形式を選択(「個人発表」「ポスター発表」のいずれかを選択)。
  - 2) 希望の発表形式での発表が不可能であった場合、他方の発表形式での発表を望むかどうかを記入。
  - 3) 基本情報(氏名、所属、連絡先など)を入力(連絡先は『研究大会要旨集』には掲載しません)。
  - 4) 演題名を日本語・英語で記入。
  - 5) 演題の関わる地域および研究テーマを選択。

- 6) 抄録（日本語 200 字、英語 65 ワード以内）、すなわち演題の簡単な内容紹介文の入力。英語は省略可。
- 7) キーワード（日本語・英語で各 5 語以内）の入力。英語は省略可。
- 8) 研究大会ウェブからダウンロードしたワード・ファイルの 1 頁に書かれた発表要旨（1,500 字以上 2,000 字以内）を PDF に変換したファイルのアップロード。使用言語は任意ですが、必ず 1 頁以内で、PDF ファイルは 3 メガバイト以下でないと J-STAGE にアップロードできません。

発表要旨には図表などを入れることも可能です（写真は不可）。冊子体の『研究大会要旨集』は白黒印刷になりますが、ウェブ版ではカラーで見ることがもできます。

- ・ウェブ上での作業のやりかたがわからない人は、誰かお知り合いに登録の補助、または代理登録をお願いしてください。どうしても補助者が見つからない場合は、郵便研究発表要旨登録用紙に記入して研究大会準備委員会まで 2011 年 12 月 8 日（木）必着で郵送してください。

#### 4. 「分科会発表」の要旨登録

- ・1 人で発表できる回数は「個人発表」「分科会発表」「ポスター発表」のいずれか 1 回だけです（「分科会発表」でのコメンテーターは発表者とは見なしません）。
- ・研究大会ホームページ (<http://www.jasca.org/meeting/46th/>) から J-STAGE の演題登録画面に入り、ウェブ上で下記の手順に沿って趣旨説明要旨や発表要旨などの電子登録をしてください。
- ・登録ができるのは、2011 年 11 月 17 日（木）14:00～12 月 8 日（木）14:00 の要旨登録期間と限られています。それ以外の期間には登録できません。
- ・「分科会発表」要旨登録とは別に趣旨説明要旨の登録が必要で、これは組織者が行ってください。
- ・発表要旨の登録は発表者各人による登録、組織者による一括登録のいずれもが可能です。
- ・査読で採択された「個人発表」「分科会発表」の要旨の合計件数が 240 件を超えた場合、要旨登録順位に従って研究大会準備委員会が発表の可否を決定します。「分科会発表」の趣旨説明要旨および発表者 4 人以上の発表要旨が査読で採択されても「分科会発表」ができないことがありますので、ご了承ください。
- ・「分科会発表」の要旨登録順位は組織者による趣旨説明要旨の登録日時によって数えます。発表者全員の発表要旨が揃った段階で組織者が（趣旨説明要旨を含めて）すべてを一括して登録することもできますが、その分、「分科会発表」の要旨登録順位が後ろに下がる可能性がありますので、十分にご注意ください。
- ・「分科会発表」が不成立あるいは不可能であった場合、発表予定者はそれに代わる「個人発表」あるいは「ポスター発表」を行うことができますが、研究大会準備委員会がその可否を決定する際には、あくまでも当該発表の要旨登録順位で判断します。組織者がすべてを一括して登録する場合は、この点にも十分にご注意ください。
- ・要旨登録の期間中、J-STAGE には何度でもログインでき、登録内容の変更が可能です。ただし、その場合、要旨の最終登録日時は最後に登録内容を変更した時点となります。したがって、変更を加えるごとに、大会準備委員会による発表の可否決定にかかわる要旨登録順位が後ろに下がりますので、十分にご注意ください。
- ・要旨登録に際しては、以下のことを行ってください（趣旨説明要旨登録と発表要旨登録は同様です）。
  - 1) 発表形式の「分科会発表」を選択し、分科会組織者の氏名、分科会の名称を記入。
  - 2) 分科会が不成立あるいは不可能であった場合に「個人発表」あるいは「ポスター発表」を望むかどうかを記入。
  - 3) 基本情報（氏名、所属、連絡先など）を入力（連絡先は『研究大会要旨集』には掲載しません）。
  - 4) 演題名を日本語・英語で記入。
  - 5) 演題の関わる地域および研究テーマを選択。
  - 6) 抄録（日本語 200 字、英語 65 ワード以内）、すなわち演題の簡単な内容紹介文の入力。英語は省略可。
  - 7) キーワード（日本語・英語で各 5 語以内）の入力。英語は省略可。
  - 8) 研究大会ウェブからダウンロードしたワード・ファイルの 1 頁に書かれた趣旨説明要旨・発表要旨（1,500 字以上 2,000 字以内）を PDF に変換したファイルのアップロード。使用言語は任意ですが、必ず 1 頁以内で、PDF ファイルは 3 メガバイト以下でないと J-STAGE にアップロードできません。
 要旨には図表などを入れることも可能です（写真は不可）。冊子体の『研究大会要旨集』は白黒印刷になりますが、ウェブ版ではカラーで見ることがもできます。
- ・ウェブ上での作業のやりかたがわからない人は、誰かお知り合いに登録の補助、または代理登録をお願いしてください。どうしても補助者が見つからない場合は、郵便研究発表要旨登録用紙に記入して研究大会準備委員会まで 2011 年 12 月 8 日（木）必着で郵送してください。

### <研究発表の査読の結果と発表の可否の連絡について>

#### 5. 研究発表査読委員会による研究発表要旨の審査

- 要旨登録期間中に登録された研究発表等の要旨は、学会理事会の下に置かれた研究発表査読委員会を通じて審査され、その結果が随時、研究大会準備委員会へ通知されます。(査読の内容については、研究発表査読委員会からの「研究大会における研究発表に関する査読について」をご覧ください)

#### 6. 研究大会準備委員会からの査読の結果と研究発表の可否の決定に関する連絡

- 査読で採択された研究発表の要旨が予定の件数(「個人発表」「分科会発表」合計で240件、「ポスター発表」30件)を超えた場合、要旨登録順位に従って研究大会準備委員会が発表の可否を決定します。
- 査読の結果および発表の可否の決定については、2012年1月31日(火)までに、研究大会準備委員会から発表要旨登録者の登録されたアドレスへEメールで連絡します。郵送を希望する人は、その旨を研究大会準備委員会へ郵便、Eメール等でお知らせください。その際には、郵送先住所を明記してください。
- 査読の結果および発表の可否の決定について連絡する際には、発表形式の変更のご意思を確認する場合があります。
- いずれの形式の発表でも、査読では採択されながら要旨登録順位により発表ができず、発表種別の変更を望まないか、あるいはできない場合、次年度の研究大会にて優先的に発表枠を得ることができます。

### <研究大会への参加登録などについて>

#### 7. 参加登録および参加費納入の期間

- 査読制がありますので、参加登録は研究大会準備委員会から発表要旨登録者へ査読の結果および発表の可否を連絡した後、2012年2月1日(水)から5月18日(金)まで受け付けます。これは研究発表を予定していない人も同様です。
- 参加登録はウェブ上で電子登録を行ってください。登録をしますと、登録内容をEメールで折り返し自動送信します。
- 郵便研究大会参加登録用紙を用いての登録も5月18日(金)まで(当日必着)とします。
- 従来通り、参加登録は参加費の納入をもって完了と見なします(規程により、名誉会員の参加費納入は不要です)。5月19日(土)以降は研究大会当日受付扱い(研究大会当日現金払いの参加費)となりますので、十分にご注意ください。
- 参加登録の際には、2011年度までの学会費の納入状況を確認し、未納分がある場合にはご連絡します。2011年度までの学会費の完納が参加登録の要件にはなっていませんが、未納分の納入にご協力ください。なお、研究大会当日、「学会受付」で学会費納入を受け付けています。

#### 8. 非会員参加者(コメンテーターを含む)の参加手続き

- 非会員の参加希望者は(「分科会発表」の中で発表を行う非会員も含む)、研究大会当日に受付にて参加手続きを行ってください。

### <研究大会参加費・懇親会費について>

#### 9. 研究大会参加費・懇親会費とその納入方法

- 研究大会参加費・懇親会費は以下の通りです。
- 懇親会については、その準備・運営の都合上、当日の参加受付はできません。懇親会に参加予定の人は、大会参加費と同時に懇親会費も納入してください。
- なお、研究大会会計は、学会本会計からの120万円の補助金と参加費・懇親会費を主な財源として過不足なき会計を目標として努力しておりますが、万一大会運営の収支に剰余が生じた場合、剰余分を学会の本会計に繰り入れることとなりますので、あらかじめご了解ください。

	支払方法	支払日	参加費	懇親会費予価*1
一般会員	郵便振込	2012年5月18日まで	5,000円	8,000円
	現金払	大会当日	7,000円	×
学生会員	郵便振込	2012年5月18日まで	4,000円	6,000円
	現金払	大会当日	6,000円	×
非会員	現金払	大会当日	7,000円	8,000円*2

\*1: 懇親会費は第2回サーキュラーにて確定します。

\*2：懇親会に参加予定の非会員は、懇親会の準備・運営の都合上、必ず2012年5月18日（金）までに研究大会準備委員会へご連絡ください（会員同様、当日の懇親会参加受付はできません。懇親会費は研究大会参加費と合わせて当日、研究大会受付にてお支払いください）。

#### <映像作品の上映について>

#### 10. 映像作品の上映とその届け出

- ・ 研究発表とは別に、文化人類学・民族学研究に関連する映像作品の上映を受け付けます。
- ・ 映像作品の上映は、原則として、その作品の著作権あるいは上映権を有する者本人が行うものとします。ただし、会場には上映機器の使用に関する補助係を1名以上配置します。
- ・ 上映者自身が上映作品の著作権や上映権を有さない場合、上映へ向けて作品の著作権者や上映権者との交渉を十分に済ませてください（上映に関する契約書や同意書を受けることを強くお勧めしますが、研究大会準備委員会へ提出する必要はありません）。なお、上映に関する権利問題や倫理問題には、学会や研究大会準備委員会は一切の責任を負いません。
- ・ 査読制の適用される研究発表との公平性を確保するため、上映の前後に解説や議論のための時間はあえて設けません。ただし、上映の準備・後始末のための時間を前後に10分設けます。
- ・ 作品に関する解説が必要と考える場合はプリントを用意し、会場に置いてください。
- ・ 映像作品上映のスケジュールはプログラムの中に示し、また、上映作品の概略等（下記の通り500字程度）を『研究大会要旨集』の中に掲載します。ただし、ウェブ版には掲載されません。
- ・ 上映時間は1時間以内としてください。
- ・ 設備・教室等の事情で、枠が限られますので、学会上映の経験が無く、制作年度が近いものから優先します。以上の優先順位で一杯になった場合、上映をお断りすることがありますのでご了解ください。
- ・ 映像作品上映のスケジュールの決定や使用機器の準備等のため、映像作品の上映希望者は、2011年11月17日（木）～12月8日（木）の要旨登録期間にあわせて、以下の情報を研究大会準備委員会へEメールでお届けください。
  - 1) 氏名、所属、連絡先（Eメールのアドレス、電話番号等）
  - 2) 上映希望作品のタイトル、製作者・著作権者、製作年、上映時間
  - 3) 上映希望作品の内容の概要と上映の意図（合計で500字程度）
  - 4) 上映に必要な機器設備

#### <『研究大会要旨集』について>

#### 11. 『研究大会要旨集』の公開について

- ・ 第42回研究大会より、従来の『研究大会抄録』（ないしは『研究大会要旨集』）を、『研究大会要旨集』のタイトルで、研究大会当日配布の冊子体の他、ウェブでの公開も行うことにしています。
- ・ 今回の研究大会では研究発表査読委員会による審査のために研究発表の要旨等が登録されますので、このうち査読で採択され発表が可能となったものを、（一部の個人情報を除いて）そのまま『研究大会要旨集』に編集・掲載します。

#### 12. 著作権

- ・ 第46回研究大会より、研究発表の要旨等については、登録時に日本文化人類学会への著作権委譲を承諾いただいたものとしたします。
- ・ 委譲にあたって著者が保持する権利については、『文化人類学』掲載論文等利用許諾基準に定めたものを準用することとします。

#### <その他>

#### 13. 託児施設の利用

- ・ 会期中に託児室を設けます。対象となるのは0～8歳の乳幼児・児童で、託児時間は研究発表が行われる6月23日（土）と24日（日）の朝から夕方までです。なお、今大会では懇親会が学外で開催されるため、懇親会の時間帯には託児室は設けません。
- ・ 大会参加者で託児を希望する人は、2012年4月20日（金）までに、お子さんの年齢、性別、託児を希望する日・時間帯を明記し、研究大会準備委員会へEメールでお申し込みください。郵送で参加登録を行う人は、登録用紙の欄外に託児施設の利用に関する必要事項を書いて申し込みとしてください。この場合、参加登録用紙は2012年4月20日（金）必着でお送りください。
- ・ 学会からの補助もありますが、受益者負担を原則として託児料をお支払いいただきます。託児料の負担額は申し込

み人数などに応じて異なってきますので、申し込みの締め切り後、わかり次第ご連絡します。

#### 14. 出張依頼状

- 出張依頼状はウェブ上にリンクがありますので、そちらからダウンロードしてご利用ください。郵便で手続きをする場合には、その旨を研究大会準備委員会にお伝えください。用紙をお送りします。

#### 15. 宿泊施設等の案内

- 宿泊先の予約は各自で行ってください。

#### 16. 第2回以降のサーキュラー

- 第2回以降のサーキュラーは、郵送で登録を進める人を除き、ウェブ上でご覧ください。サーキュラーの更新時にはjasca-infoにてお知らせします。

#### 17. 研究大会準備委員会への問い合わせ

- 研究大会準備委員会は、Eメール、ないしは郵便でお願いします。それ以外は受け付けませんので、よろしくお願いいたします。

2011年10月1日

日本文化人類学会第46回研究大会 準備委員長 佐野(藤田)眞理子

【準備委員会連絡先】 〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1 広島大学大学院総合科学研究科

日本文化人類学会第46回研究大会準備委員会事務局

ウェブサイト：<http://www.jasca.org/meeting/46th/index.html>

Eメール：[46nbj@jasca.org](mailto:46nbj@jasca.org)

### \*\*\* 研究大会のためのスケジュール一覧 \*\*\*

- 2011.10.01頃 『文化人類学』76巻2号の発行(第1回サーキュラーの掲載)。  
「サーキュラーおよび郵便登録用紙請求」ハガキ受付の開始(研究発表希望者の受付は研究発表要旨登録との関係上10月31日まで、それ以外の方は2012年4月20日まで。対応は10月31日以降)。
- 2011.10.31. 第1回サーキュラー、ウェブ公開(jasca-infoで広報)。  
研究発表希望者の「サーキュラーおよび郵便登録用紙請求」ハガキ受付の締切(当日必着)。  
郵便登録用紙請求の会員へ研究発表要旨登録用紙・研究大会参加登録用紙(プリント版)の送付の開始(以後、請求に対して随時対応)
- 2011.11.17. 14:00より、研究発表(「個人発表」「分科会発表」「ポスター発表」)の査読のための発表要旨・分科会趣旨説明要旨の電子登録・郵便登録の開始(jasca-infoで広報。登録は12月8日14:00まで)。  
映像作品上映の届出の開始(jasca-infoで広報。届出は12月8日まで)。  
この日までに会員となっていることが発表登録の資格要件。
- 2011.12.08. 14:00をもって研究発表(「個人発表」「分科会発表」「ポスター発表」)の査読のための発表要旨・分科会趣旨説明要旨の電子登録・郵便登録の締切(jasca-infoで広報。郵便登録は当日必着)。映像作品上映の届出の締切(jasca-infoで広報)。  
この日までに2011年度会費を支払っていることが発表登録の資格要件。
- 2012.01.31. この日までに研究発表要旨登録者へ査読の結果・研究発表の可否を連絡。
- 2012.02.01. 研究大会参加登録の開始(jasca-infoで広報。登録は5月18日まで)。
- 2012.04.20. 「サーキュラーおよび郵便登録用紙請求」ハガキ受付の締切(当日必着)。  
託児室利用申込締切(できるだけEメールで、郵便の場合も当日必着)。
- 2012.05.18. 研究大会参加・懇親会参加の電子登録・郵便登録の締切(jasca-infoで広報。郵便登録当日必着)。  
研究大会参加費・懇親会費の振込締切(これ以後、当日現金支払となります。懇親会参加は出来ません)
- 2012.05.30頃 第3回サーキュラー、ウェブ公開(予定。jasca-infoで広報)。  
第3回サーキュラー、発送(予定)。
- 2012.06.03頃 『研究大会要旨集』ウェブ公開(予定)
- 2012.06.23. 研究大会当日(当日参加受付)
- 2012.06.24. 研究大会当日(当日参加受付)

日本文化人類学会第43回総会において、査読制の導入を含む、研究大会の運営に関する理事会提案が承認されました。第44回研究大会より、研究発表に関し査読制の試行的導入を行っておりますが、その要領は以下の通りです。

2009年9月1日  
研究発表査読委員会

### 研究大会における研究発表に関する査読について

#### (目的)

日本文化人類学会は、研究大会における研究発表が学術研究にふさわしい高度な水準を保ちうるよう、査読の制度をおく。査読制度の運営については、理事会の下に置かれた研究発表査読委員会が責任を負うものとする。

#### (査読者)

研究発表査読委員会は、登録された研究発表（個人発表、分科会発表、ポスター発表）の要旨および分科会の趣旨説明の要旨それぞれ1編につき原則として2名以上の査読者を選定し、査読を依頼する。

#### (査読者の匿名性)

査読者は匿名とする。研究発表査読委員会は査読者名を公開しない。

#### (査読方法)

査読者は、査読の対象となる研究発表の要旨および分科会の趣旨説明の要旨に対して、次の観点に基づき評価を行い、総合的判断として発表の可否の判定を行う。

1. 文化人類学・民族学の発表として適切であるか。
2. 発表内容の趣旨が明確であるか。
3. 発表の準備が十分できているか。
4. 要旨の長さが規定を満たしているか。
5. 過去（2007年度以降）の研究大会で行った発表と重複していないか。

#### (発表の可否の決定)

研究発表査読委員会は、査読者による査読結果を十分に斟酌して、研究発表の可否を決定する。研究発表の可否の決定は、研究発表査読委員の過半数の賛成によって行う。

#### (発表の可否の通知)

研究発表査読委員会は、研究発表の可否の決定を研究大会準備委員会に通知する。

査読で採択された研究発表要旨が研究大会準備委員会の用意した発表件数枠を超えた場合、研究発表等の要旨を登録した日時の順位（先着順位）によって分科会も含め発表者を決定することになります（分科会発表の要旨の登録が発表者個別に行われた場合、分科会としての登録順位は分科会組織者による趣旨説明要旨の登録日時によって数えます）。査読で採択されたものの発表枠からはずれた研究発表については、次年度に発表枠を優先的に確保することとします。ただし、発表者が希望すれば、次のような措置を取ることも可能です。

- ①ポスター発表が導入されていて、個人発表件数枠・ポスター発表件数枠のどちらかに余裕がある場合には、先着順で余裕のある方の発表形式に変更して発表することができる。
- ②分科会が成立しないと考えられる場合（趣旨説明が査読で採択されなかった場合や、分科会発表の中に査読で採択されなかったものがあり、分科会内での発表数が3以下となる場合）には、査読で採択された分科会発表を個人発表あるいはポスター発表として個別に発表することができる。

上記の点も含め、研究発表の可否等の通知は研究大会準備委員会が行います。